

■手術方法

会陰ヘルニアの外科的修復法としては ①ヘルニアを形成している周囲の肛門括約筋、肛門挙筋、尾骨筋、内閉鎖筋を縫合する方法 ②内閉鎖筋を反転してヘルニア部を閉鎖する方法 ③メッシュ線維によりヘルニア部を閉鎖する方法 ④精管を腹腔に固定する方法 ⑤その他 があるが、いずれの方法も手術に長時間を要したり、再発したり、また手術がやりにくいなど、問題も多い。

シリコンプレートを用いる方法は、手術時間も極めて短く、筋肉の萎縮があっても簡単に手術することができる。以下手術法について述べる。

1. 肛門にキンチャク縫合を行なう。
2. 去勢手術を施す。
3. ヘルニア部の皮膚を切開してヘルニア輪を確認する。
4. ヘルニア部に脱出している臓器を腹腔におしもどし、シリコンプレートをその部に装着する。
5. シリコンプレートと周囲の尾骨筋、肛門挙筋、肛門括約

筋、内閉鎖筋に縫合する。

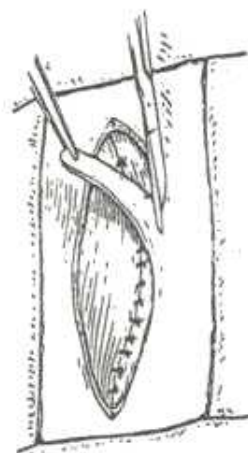
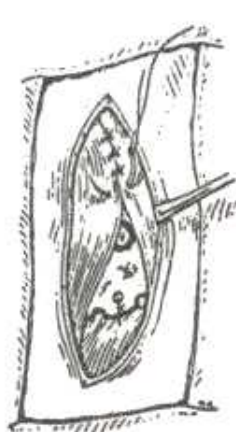
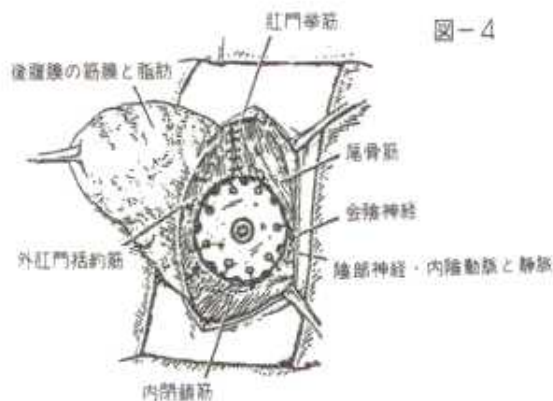
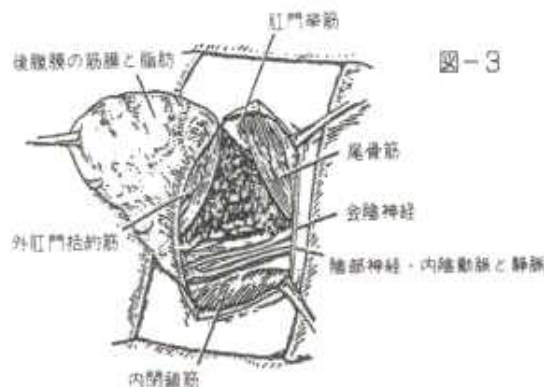
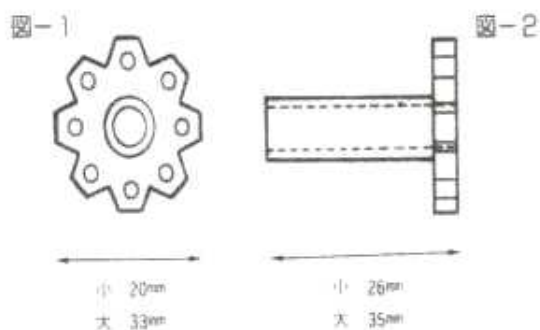
6. 後腹膜を縫合する。
7. 余分の皮膚を切除後、皮膚をとじる。縫合にあたっては、非吸収性のモノフィラメント縫合糸が、より好ましい。

■シリコンプレートの説明

本プレート的小で体重7kg、大で16kgまでの動物の手術が可能で、図-1に示すシリコンプレートの円板部の穴を通し、周囲の組織と縫合する。

また円板周囲のミゾにより陰部神経や会陰動静脈への圧迫をやわらげ、神経損傷や動静脈の充うっ血を防ぐ事が出来る。

図-2に示すシリコンプレートの円筒部を腹腔側に向ける事により、腹腔臓器の再脱出を押さえ、また円筒部にあけた穴は、そこから結合織の進入をゆるし、それによりシリコンプレートが、しっかりと固定されるのを期待するためのものである。



●写真の特針器等も取扱っております。ご用命ください。

外観・仕様などは改良等のため変更することがあります。ご了承ください。

FHK 富士平工業株式会社

〒113-0832 東京都文京区東郷4丁目11番5号
電話 東京(03)3817-2271 ファクシ(03)3817-3463